

輪島地区 道路復旧・復興促進協議会の設立趣旨について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、最大震度7を観測し、大規模な斜面崩壊、道路崩落等に伴い道路網が寸断され、孤立集落が発生するなど、能登地域を中心に甚大な被害をもたらした。

この未曾有の大災害からの復旧途上にあつた中、9月には、令和6年奥能登豪雨により、奥能登は壊滅的な状況となり、極めて異例な複合災害となった。

この複合災害に対し、発災直後から関係機関が連携し、懸命に道路啓開作業に取り組んだ結果、2市2町へのアクセスルートや主要幹線道路など、着実に道路復旧は進んでいる。しかしながら大規模な崩落や脆弱な地盤、厳しい周辺環境などから長期に渡って通行不能となっている路線もある。周辺住民の生活再建や奥能登の復興を進めるためには、一日も早い道路の復旧が必要である。

このため、被災状況や応急復旧の進捗状況を共有し、石川県創造的復興プランの観点を踏まえた本復旧に向け、関係者が連携して緊急的、一体的に進めることを目的として「輪島地区 道路復旧・復興促進協議会」を設置する。